

平成27年度e・アンケートモニター
第2回アンケートNo.1 調査結果
テーマ「地球温暖化問題について」

I 調査の概要

1 調査の目的

二酸化炭素等の温室効果ガス排出量増加による地球温暖化問題は、私たち人間の活動が原因である可能性は極めて高いといわれており、県民、事業者、行政がそれぞれ連携して対策を進める必要があります。

また、山口県全体の二酸化炭素排出量は、近年、減少傾向にあるものの、家庭からの排出量は増加しており、家庭における一層の削減の取組が重要です。

このアンケートは、今後、山口県において、地球温暖化対策の取組を推進していくための基礎資料として御意見を伺うものです。

2 調査実施期間

平成27年9月16日(水)～9月30日(水)

3 調査対象

平成27年度e・アンケートモニター 91人

4 回答状況

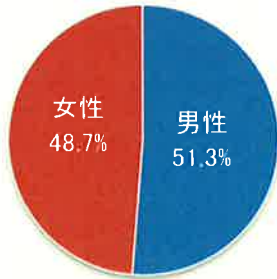
回答者 78人(回答率 85.7%)

5 調査担当課

山口県環境生活部環境政策課

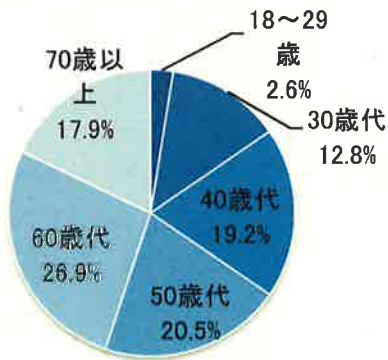
II 回答者の属性

■性別



区分	人数	%
男性	40	51.3
女性	38	48.7
計	78	100.0

■年代別



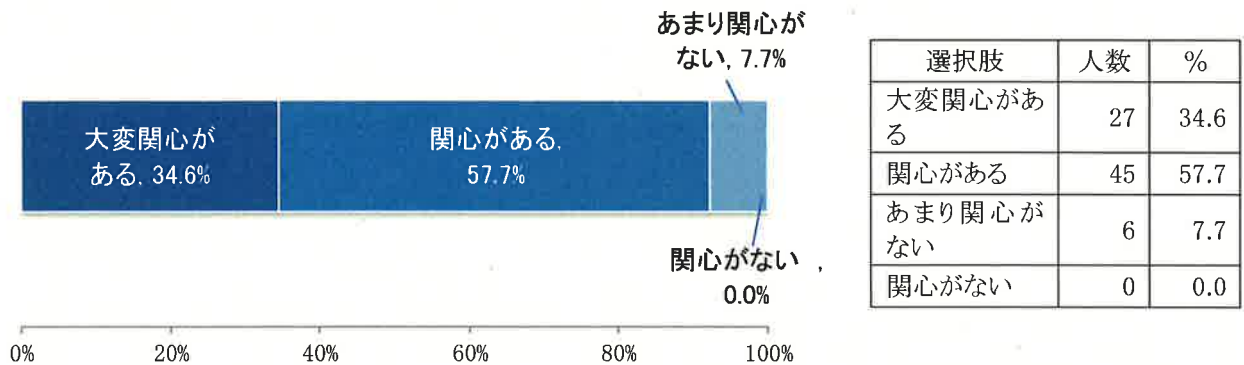
区分	人数	%
18～29歳	2	2.6
30歳代	10	12.8
40歳代	15	19.2
50歳代	16	20.5
60歳代	21	26.9
70歳以上	14	17.9
計	78	99.9

※「回答者の属性」、「調査結果」の各グラフ及び各表中に示した数値は小数点第2位を四捨五入しているため、全項目の合計が100.0%とならない場合があります。

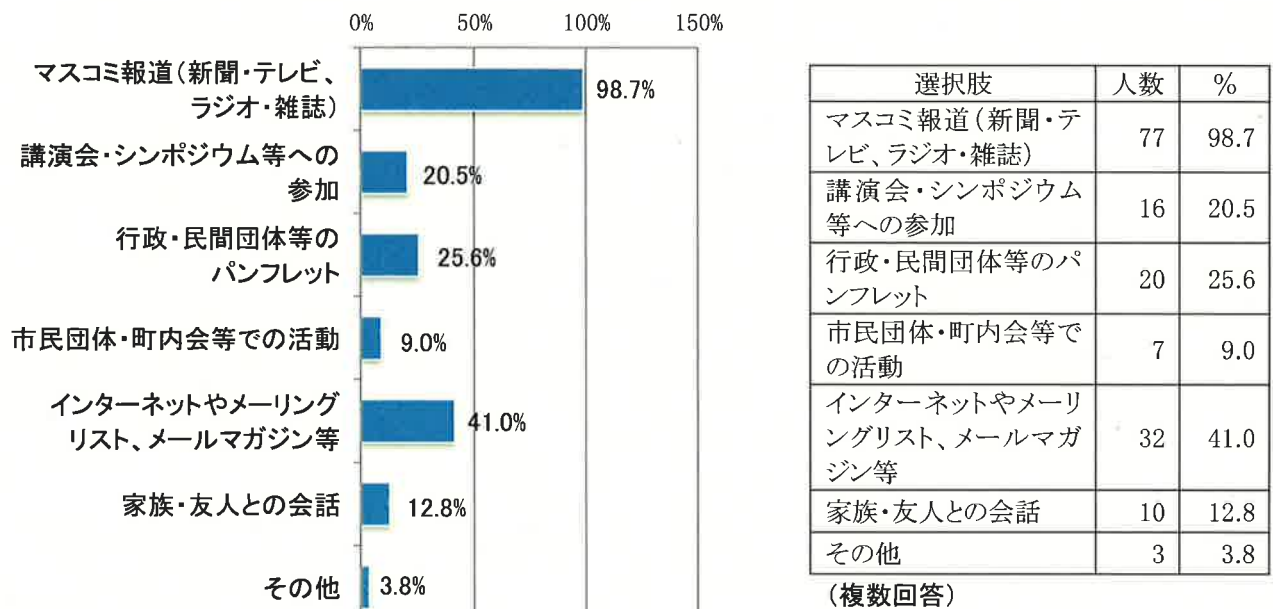
Ⅲ 調査結果

1. 地球温暖化問題への対応について

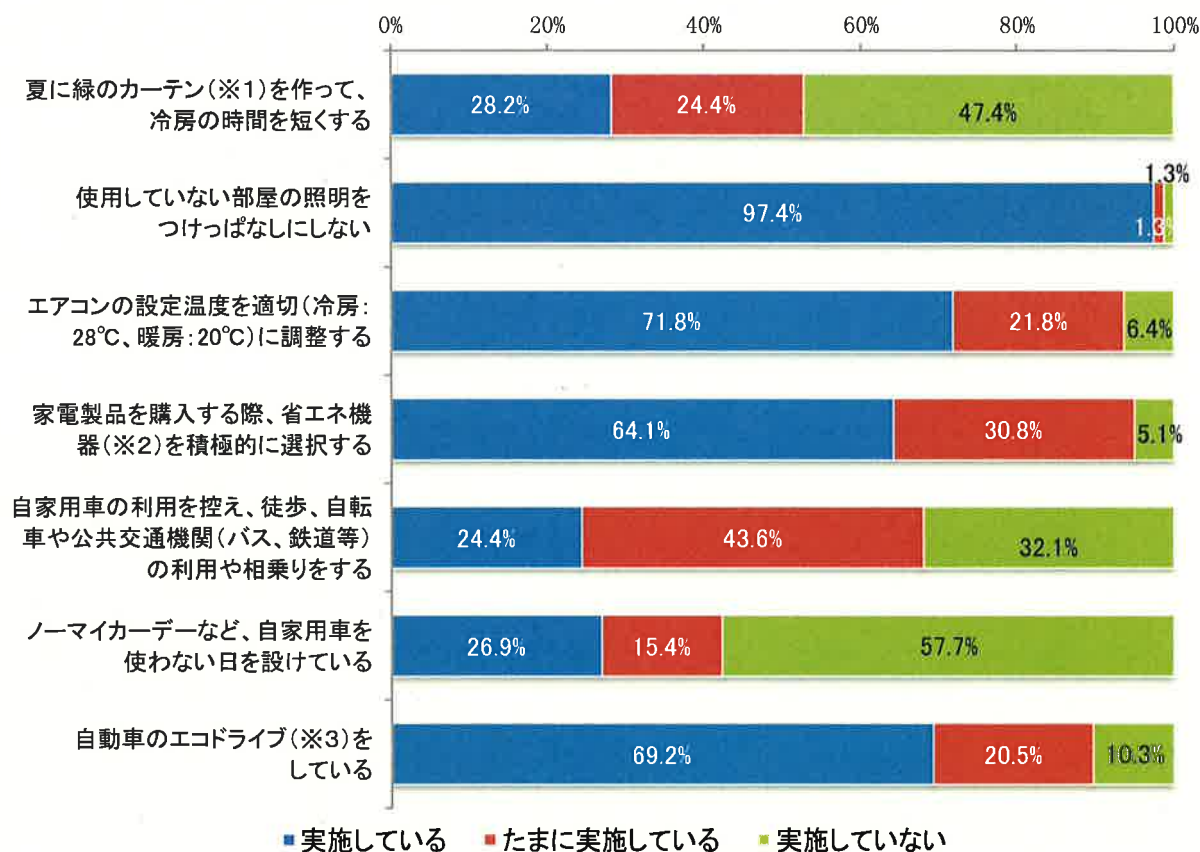
問1 あなたは地球温暖化問題に関心をお持ちですか。(1つのみ)



問2 あなたは、地球温暖化問題など環境に関する情報を何から得ていますか。(いくつでも)



問3 あなたの日常生活において、地球温暖化対策として、どのような取組を行っていますか。
(それぞれ1つずつ)



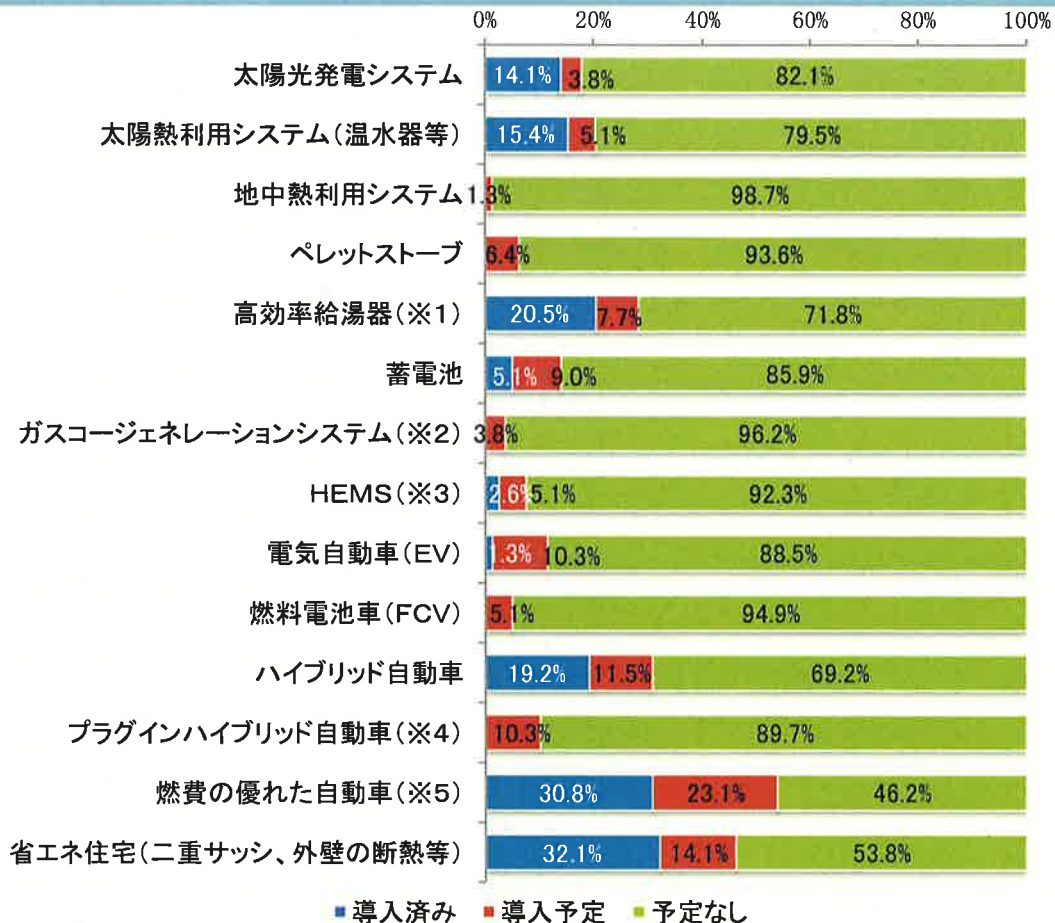
※1「緑のカーテン」:アサガオやニガウリなどを利用して、夏の日射しをさえぎる自然のカーテンのこと

※2「省エネ機器」:「緑の省エネラベル」がついていますので、確認してください。

※3「エコドライブ」:急発進・急加速をしない、タイヤの空気圧を適切にする、アイドリングストップ等

選択肢	人数			%		
	実施している	たまに実施している	実施していない	実施している	たまに実施している	実施していない
夏に緑のカーテン(※1)を作って、冷房の時間を短くする	22	19	37	28.2	24.4	47.4
使用していない部屋の照明をつけっぱなしにしない	76	1	1	97.4	1.3	1.3
エアコンの設定温度を適切(冷房:28℃、暖房:20℃)に調整する	56	17	5	71.8	21.8	6.4
家電製品を購入する際、省エネ機器(※2)を積極的に選択する	50	24	4	64.1	30.8	5.1
自家用車の利用を控え、徒歩、自転車や公共交通機関(バス、鉄道等)の利用や相乗りをする	19	34	25	24.4	43.6	32.1
ノーマイカーデーなど、自家用車を使わない日を設けている	21	12	45	26.9	15.4	57.7
自動車のエコドライブ(※3)をしている	54	16	8	69.2	20.5	10.3

問4 あなたは、ご家庭で以下の再生可能エネルギー設備や省エネルギー機器等を導入していますか。(それぞれ1つずつ)



※1 高効率給湯器: 給湯熱効率が90%以上である給湯器(エコキュート、潜熱回収型給湯器など)

※2 ガスを使って電気と熱を取り出し利用するシステム(エネファーム、エコウィル)

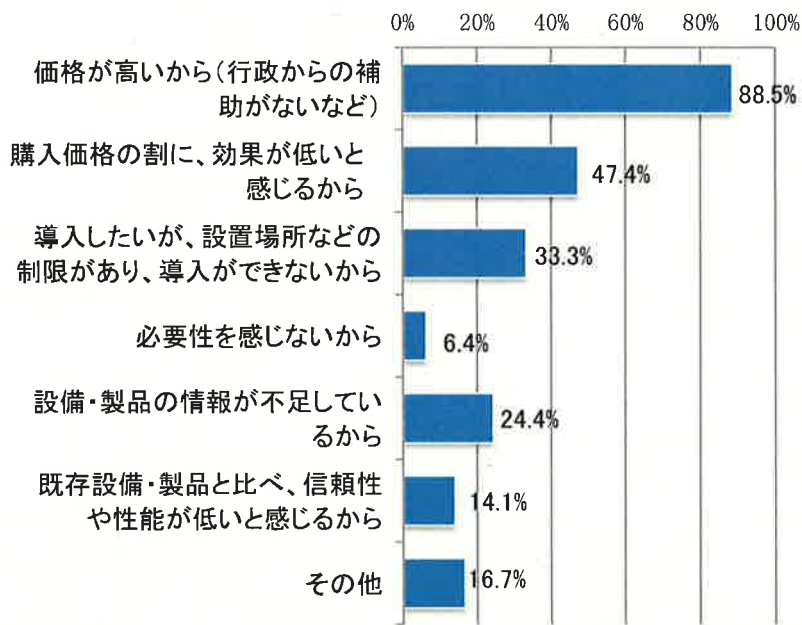
※3 ホームエネルギーマネジメントシステム(HEMS): 家庭での電力使用量や太陽光発電システムの発電量等をパソコン・タブレット等で「見える化」し、効率的な電気の利用と節電を行うシステム

※4 外部電源から充電できるタイプのハイブリッド自動車(排気ガス等を出さない電気自動車のメリットと遠距離走行ができるハイブリッド自動車の長所を併せ持つ自動車です。)

※5 「燃費の優れた自動車」: 国が認定した車種には緑のステッカーがついており、自動車検査証の備考欄に「平成22年度燃費基準達成車」などと表示されています。

選択肢	人数			%		
	導入済み	導入予定	予定なし	導入済み	導入予定	予定なし
太陽光発電システム	11	3	64	14.1	3.8	82.1
太陽熱利用システム(温水器等)	12	4	62	15.4	5.1	79.5
地中熱利用システム	0	1	77	0.0	1.3	98.7
ペレットストーブ	0	5	73	0.0	6.4	93.6
高効率給湯器(※1)	16	6	56	20.5	7.7	71.8
蓄電池	4	7	67	5.1	9.0	85.9
ガスコージェネレーションシステム(※2)	0	3	75	0.0	3.8	96.2
HEMS(※3)	2	4	72	2.6	5.1	92.3
電気自動車(EV)	1	8	69	1.3	10.3	88.5
燃料電池車(FCV)	0	4	74	0.0	5.1	94.9
ハイブリッド自動車	15	9	54	19.2	11.5	69.2
プラグインハイブリッド自動車(※4)	0	8	70	0.0	10.3	89.7
燃費の優れた自動車(※5)	24	18	36	30.8	23.1	46.2
省エネ住宅(二重サッシ、外壁の断熱等)	25	11	42	32.1	14.1	53.8

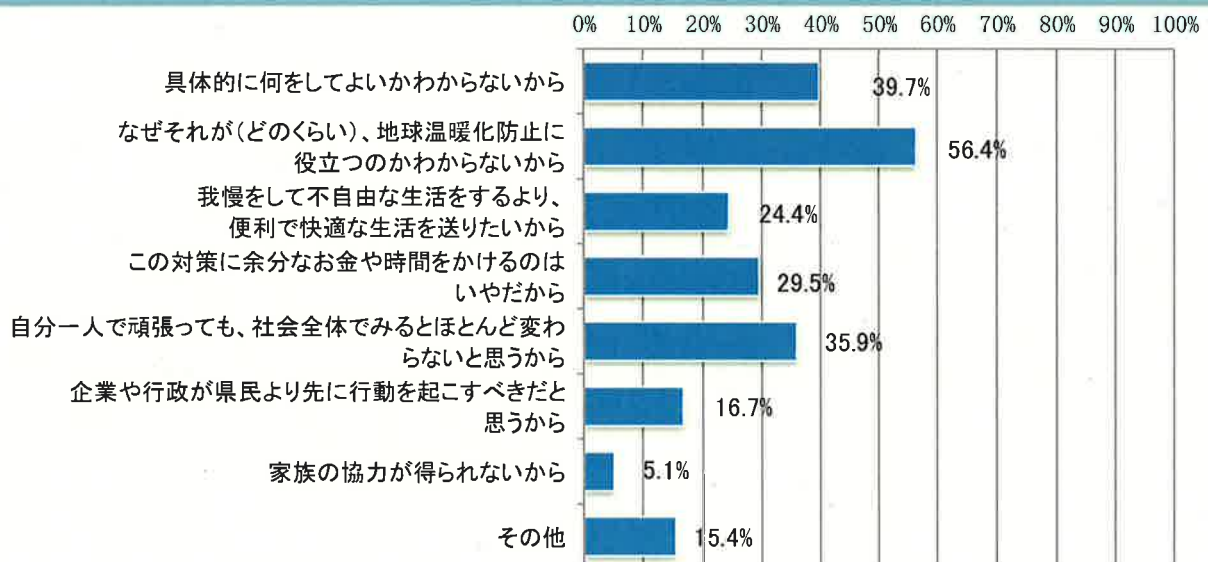
問5 再生可能エネルギー設備や省エネルギー機器等を導入しにくい理由は何と申しますか。現在導入されている方も、導入当初を思い出して記入してください。(3つまで)



選択肢	人数	%
価格が高いから(行政からの補助がないなど)	69	88.5
購入価格の割に、効果が低いと感じるから	37	47.4
導入したいが、設置場所などの制限があり、導入ができないから	26	33.3
必要性を感じないから	5	6.4
設備・製品の情報が不足しているから	19	24.4
既存設備・製品と比べ、信頼性や性能が低いと感じるから	11	14.1
その他	13	16.7

(複数回答)

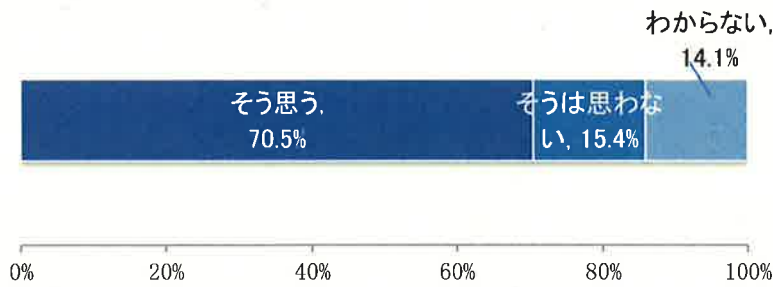
問6 地球温暖化防止行動に取り組みにくい理由は何と申しますか。現在、行動されている方も、取組当初を思い出して記入してください。(3つまで)



選択肢	人数	%
具体的に何をしようかわからないから	31	39.7
なぜそれが(どのくらい)、地球温暖化防止に役立つのかわからないから	44	56.4
我慢をして不自由な生活をするより、便利で快適な生活を送りたいから	19	24.4
この対策に余分なお金や時間をかけるのはいやだから	23	29.5
自分一人で頑張っても、社会全体でみるとほとんど変わらないと思うから	28	35.9
企業や行政が県民より先に行動を起こすべきだと思うから	13	16.7
家族の協力が得られないから	4	5.1
その他	12	15.4

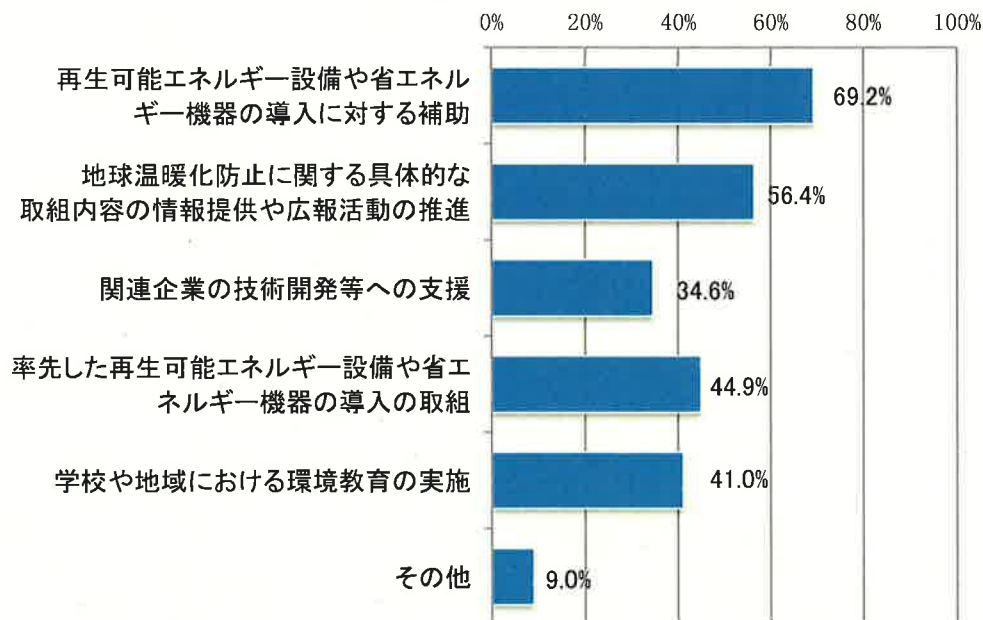
(複数回答)

問7 あなたは「経済発展や生活の利便性を若干犠牲にしても、地球温暖化の原因とされる二酸化炭素などの温室効果ガスの排出削減を優先しなければならない」という考え方についてどう思いますか。(1つのみ)



選択肢	人数	%
そう思う	55	70.5
そうは思わない	12	15.4
わからない	11	14.1

問8 地球温暖化対策のため、行政が取り組むべきものは何だと思えますか。(3つまで)



選択肢	人数	%
再生可能エネルギー設備や省エネルギー機器の導入に対する補助	54	69.2
地球温暖化防止に関する具体的な取組内容の情報提供や広報活動の推進	44	56.4
関連企業の技術開発等への支援	27	34.6
率先した再生可能エネルギー設備や省エネルギー機器の導入の取組	35	44.9
学校や地域における環境教育の実施	32	41.0
その他	7	9.0

(複数回答)

問9 山口県で地球温暖化対策を推進する上での課題や解決策など自由に記入してください。(全角300字以内)

省略